

自由な発想とアイデアで時代を切り拓くグローバルリーダーの育成を目指して

長崎県立長崎東中学校  
長崎県立長崎東高等学校  
校長 田川 耕太郎



多くの学校には校訓という形でその理念が示されていますが、ここ長崎東には校訓が存在しません。校訓がないことで、かえって過去や前例にとらわれず、先進的に挑み続けるパイオニア精神・グローバル精神が根付いており、このことが長崎東の誇るべき校風となっています。文部科学省からWWL拠点校やDXハイスクールに指定され、また県教育委員会からはイノベーションハイスクールに指定されていることはその証と言えます。このように長崎東は常に時代の先端を走る学校として注目を浴びています。

校訓がない本校ですが、その代わりに、長崎東の生徒の精神的支柱となっている言葉があります。それが「ともによき世を創る」という言葉です。この言葉は、本校の前身である旧制長崎中学の卒業生で、国文学者として名高い山本健吉氏の句の一節に由来しています。「ともによき世を創る」——つまり、仲間と共により良い社会を築いていくことが長崎東の使命であるとする気高い精神性が、学校全体に誇りと結束力をもたらしてきました。

現代社会は不確実性という霧につつまれています。日本でも世界でも政治や経済の混乱、国際紛争などが毎日のように報じられています。しかし、じっとしているだけでは未来は開けません。ピンチをいかにチャンスに変えるかという、しなやかな発想と知恵こそが今の時代には重要です。したがって、長崎東での学びは校内に限りません。県外、海外など、長崎東でしか体験できない豊富な学習機会を設け、質の高い学びを実現しています。

長崎東に関心をお持ちの皆さま、長崎東はこれからも進化し続けていきます。時代のリーダーを育成する長崎東にどうぞご期待ください。